



埼玉県立浦和西高等学校
Urawanishi High School

発行日 令和2年9月9日
学校通信 ~ 西高は今 ~
発行責任者 校長 杉林 正敏
HP <http://www.urawanishi-h.spec.ed.jp>

「VUCA」の時代

校長 杉林 正敏

今年の8月は、ひと月のうちに1学期終業式と2学期始業式を行いました。1学期終業式は8月7日(金)、2学期始業式は8月24日(月)でした。したがって、夏季休業は16日という前代未聞の短い期間となりました。

現代は「VUCA(ブーカ)の時代」だと言われます。「予測不能な時代」という意味で捉えるようです。「VUCA」とは、「Volatility(変動性)」「Uncertainty(不確実性)」「Complexity(複雑性)」「Ambiguity(曖昧性)」という4つの英単語の頭文字を取って付けた言葉です。

令和2年が始まったばかりのころ、だれが新型コロナウイルス感染症が世界にまん延するなど予測しえたでしょうか。予測不能な中で私たちは立ち往生してしまいがちですが、学校は大勢の生徒たちを預かる以上、生徒たちの安心・安全に常に配慮しつつ、「学びの場」としての機能を十分に発揮し、期待に応えなければなりません。

6月22日(月)から通常登校が可能となり、本校では今のところ順調に教育活動を進めていますが、いつまた学校を休業にせざるをえない状況が発生するかわかりません。これまでも、先述の通り夏季休業の短縮の他に、土曜授業の連続実施、学校行事の精選など、学校を挙げて授業時数の確保と学習保障に取り組んできました。また、オンライン学習など、ICTを活用した授業などにも教員間で研修を進め、実践してきました。

これらはすべて「変化」に対応するためです。しかし、変化に振り回されては、「本質」を見失ってしまいます。本校教育には、「自主自立」の精神を育み、「西高力(自ら考え、課題を発見し、その課題を解決する力)」を身に付けさせるという核があります。「『VUCA』の時代」、この「自主自立」や「西高力」こそが大切なのではないかと改めて思います。明日に希望を持ち、私たちはこれからも西高教育を推進してまいります。

1 梅雨明けの部活動



長かった梅雨が8月1日(土)にようやく明けました。まだ段階的な活動を進めている状態ではありますが、梅雨が明け、グラウンド等でも安定した部活動がやっとなできるようになりました。

生徒たちには、気温が急激に上昇しているので、熱中症に十分注意して活動するように声を掛けました。

2 オンライン「生徒総会」実施



8月7日(金)9時から、地理室からの中継で双方向オンラインによる生徒総会を実施しました。

まず、2019年度の後期活動報告が前生徒会長などからあり、続いて2019年度の決算報告がありました。

その後、2020年度の予算案と前期活動方針の審議が行われ、それぞれ了承されました。前期の生徒会長・議長・審査長の三役をはじめ、各生徒会役員は7月17日(金)の生徒会役員選挙で選ばれたばかりです。

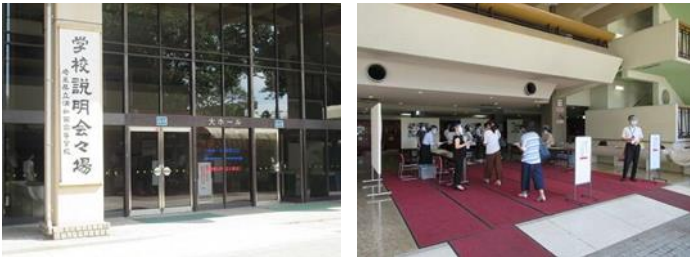
3 1学期終業式(オンライン)



8月7日(金) 1学期終業式をオンラインで行いました。例年の1学期終業式なら、各部活動等の表彰やオーストラリア研修派遣代表生徒あいさつなどを必ず行っていたところですが、コロナ禍によりこれらを行うことができず、校長講話と生徒指導部長の話、そして最後に校歌を流すという簡素な式となりました。

校長講話では、「VUCA」の時代、目の前に確実にある「今」を大切にしてほしいという想いで、禅の言葉「而今(にこん)」をボードに示して話をしました。

4 第1回「学校説明会」開催



8月21日(金)、第1回「学校説明会」をさいたま市民会館おおみや大ホールで開催しました。コロナ禍で夏季休業が短縮され、既に2学期が始まっている中学校も多い中での開催となりました。

説明会は、午前の部(10時30分開始)、午後の部(14時開始)の2回に分け、定員を設けて事前予約制で実施しました。



初めに校長から、ご挨拶かたがた「学校概要」について、説明しました。その後、例年なら生徒会生徒が登場し、スライドを映しながら学校生活を紹介するところですが、今回はスライドに音楽と説明を入れながら、生徒による説明なしの「学校生活の紹介」となりました。

続いて進路指導主任から、「本校の進路指導」について説明し、最後に教頭から、「令和3年度入学者選抜」と「本校の生徒指導」などについて説明しました。

5 2学期がスタートしました!

8月24日(月)、2学期始業式を行いました。今回はオンラインではなく、放送での式となりました。



校長講話では、『論語』から「これを知る者は、これを好む者にし。これを好む者は、これを楽しむ者にし。これを好む者は、これを愛する者にし。これを愛する者は、これを敬する者にし。これを敬する者は、これを畏る者にし。これを畏る者は、これを愛する者にし。これを愛する者は、これを敬する者にし。これを敬する者は、これを畏る者にし。これを畏る者は、これを愛する者にし。」を引用し、「知・好・楽」の話をしました。

生徒指導部長からは、人として誠実な毎日を送ることの大切さについての話がありました。



始業式後には、2年1組の小淵日菜乃さん(女子バスケットボール部)から、8月4日(火)に「高校生の自転車安全運転推進講習会」(県主催)に参加した際の報告がありました。

6 「グローバル教育講演会」の実施



9月4日(金) 7時限目に「グローバル教育講演会」を実施しました。講師として「米国ボストン研修」の際にお世話になった株式会社ISAさんの紹介で、早稲田大学の現役学生(4年)の吉田早織さんをお招きしました。

吉田さんは高校時代、タイに留学経験があり、そこで様々な国からの留学生と交流をされたようです。大学進学と同時に、より国際的な環境に身を置きたいと考え、国際学生寮に暮らし始め、現在は寮長を務めています。大学3年の時、マイクロソフト社から早々に入社内定をもらい、来年4月の入社を控えていらっしゃいます。

講演会は1年生だけ体育館に集合して聴き、2・3年生はオンライン配信により教室で講演会に参加しました。

講演では、吉田さんご自身の生い立ちから現在に至るまでの経験や所感を分かりやすくお話いただきました。夢は「(テクノロジーを通じて)世界中の子供たちの可能性が制限されない未来を作りたい!」というもので、その思いは西高生たちにしっかり伝わったことと思います。